

R6年3月放送分
「防衛省職員の採用について」
(日本の防衛Q & A)
(自衛隊百科)

R6.2.21 収録

【パーソナリティー】

本日は、東北防衛局の職員採用を担当しています^{えんどうたかゆき}遠藤崇之さんから「防衛省職員の採用」について、お話を伺います。よろしくお願ひします。

【遠藤】

はい。東北防衛局人事係の遠藤と申します。本日は、よろしくお願ひします。

防衛省・自衛隊と聞くと、皆さん「自衛官」を想像する方が多いのではないのでしょうか。実は、防衛省には自衛官の他に、私のような行政・事務職の「事務官」、技術職の「技官」が全国で勤務しており、女性も多く活躍しています。

本日はそういった事務官・技官の業務や採用などについてお話させていただきます。

まず、皆さんは防衛省の「事務官」や「技官」について、ご承知でしょうか？

【パーソナリティー】

はい、この番組に出演される東北防衛局の職員の方が「事務官」や「技官」とお聞きしていますが、改めてどのような業務を行っているのか教えていただけますか？

【遠藤】

はい、防衛省の事務官・技官は約2万人を超え、全国各地で多種多様な業務に携わっています。

具体的には、事務官は、日本の防衛政策や予算の企画、立案、総務、会計、人事といった一般的な行政事務を行っています。一方、技官は、建築、土木、電気、機械などの専門分野に区分され、自衛隊施設など

の整備に係る設計や監督など、専門的な知識や技術を要する業務を行っています。

【パーソナリティー】

なるほど。防衛省の事務官や技官に採用されるためには、特別な試験を受験しなければならないのでしょうか。

【遠藤】

人事院が実施している国家公務員採用試験を受験し、最終試験合格後、防衛省の採用面接を受験していただきます。また、外国語が得意な方向けに語学職の専門職員試験もあり、この場合は、防衛省が実施する試験を受験していただきます。

【パーソナリティー】

間もなく新年度を迎えますが、試験日程は決まっていますか？

【遠藤】

一般職の大卒程度の1次試験は令和6年6月2日で、申込受付期間は、2月22日から3月25日となっております。申込はホームページから簡単にできますので、詳しくは人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」をご覧ください。

なお、高卒程度の試験申込は6月頃となっております。

【パーソナリティー】

防衛省には様々な勤務先があると思いますが、試験を受ける時に希望する勤務先を自分で選ぶことはできるのでしょうか。

【遠藤】

防衛省の一般職採用面接は、陸・海・空の各自衛隊や地方防衛局などの採用予定機関ごとに行われるため、自分が希望する機関の面接を受けていただきます。原則として受験した試験区分の地域に所在する機関に採用されますが、一般職の大卒程度技術系においては、他の省庁と同様、全国単位での採用となります。

【パーソナリティー】

国家公務員というと全国的な転勤があると思うのですが、どれくらいの頻度で転勤や異動があるのですか？

【遠藤】

防衛省では、これまで全国転勤を前提とした人事管理を行っていましたが、2022年度から、中央と各地方を単位としたブロック型人事管理を行っています。これにより職員やその家族の負担となっている転勤や単身赴任が削減されています。

採用後は、概ね2年から3年のサイクルで人事異動があり、転勤する場合でも、ブロック内が基本となります。また、希望や適性などによって、地方ブロック採用であっても防衛本省などへの異動も可能です。

【パーソナリティー】

例えば、東北防衛局を希望した場合、勤務地は宮城県仙台市になりますか？

【遠藤】

東北防衛局は、宮城県仙台市に所在する東北防衛局の本局のほかに、青森県三沢市に三沢防衛事務所と、福島県郡山市に郡山防衛事務所がありますので、このいずれかで勤務することになります。

【パーソナリティー】

そうなんですね。では、改めて、東北防衛局は防衛省の中でどのような役割を果たしているのか教えてもらえますか？

【遠藤】

はい、東北防衛局では東北6県に所在する自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設の整備や、自衛隊や在日米軍の活動が円滑かつ効果的に実施されるよう、地方公共団体や地域住民のみなさんからの理解と協力を得るため、それらを繋ぐ架け橋としての役割を担っています。

【パーソナリティー】

東北防衛局の職員として働くことの魅力を一言で言うとどのようなものでしょうか。

【遠藤】

日本を取り巻く安全保障環境は戦後最も厳しく複雑なものになっています。その中で、国民のみなさんの生命・財産を守り、国際社会の平和と安定に貢献し、国家存続の根幹を守る防衛省の責任・役割は益々重要になっています。安全保障という国の行方を左右するフィールドで「当事者」として仕事ができるということが大きな魅力だと思います。

例えば、自衛隊や在日米軍の活動基盤となる防衛施設は、飛行場・レーダー施設などの部隊運用に関わるものから、体育館・隊舎などの訓練や生活に使用するものまで多種多様で、防衛省は、これらの整備を調査・設計から建設工事まで一貫して実施していますが、一つ一つの施設がオーダーメイドで整備されている防衛施設は、国の安全を守る「砦」であり、防衛力の基盤整備に携わることも、魅力の一つであると思います。

【パーソナリティー】

「安全保障」や「国防」の一翼を担う職場ということですね。もう少し詳しく防衛省や東北防衛局などの業務を知りたい場合は、どのようにしたらよろしいでしょうか。

【遠藤】

防衛省では様々な業務のセミナーや少人数懇談会を行っています。勤務している職員から直接業務に関する話を聞く機会や、実際に職場を見学することができます。セミナーに参加していただくことで、防衛省の職員がどんな所で仕事をしているのか、イメージを深めることができます。興味がある方は防衛省や東北防衛局のホームページ又はX旧ツイッターで開催日時などを随時掲載しますので、ぜひチェックしてください。

【パーソナリティー】

わかりました。

それでは最後に国家公務員を目指している方々に対しメッセージを

お願いします。

【遠藤】

国家公務員は、人々の暮らしをより豊かにするために、この国の人々を想い、考え、必要な政策を実行しています。

「国防」というとあまり身近なことではないように思えるかもしれませんが、防衛省はとても大きな組織ですので、幅広い仕事があります。何かこれをしてみたいという明確な目標がある方はもちろん、まだ自分のやりたいことを見出せていない方も、自分のやりがいにつながる業務が見つかるかもしれません。

ぜひ一度説明会に足を運んでいただき、進路選択の1つに防衛省を加えていただければ幸いです。

【パーソナリティー】

本日は、防衛省職員の採用について、東北防衛局の採用担当、遠藤さんにお話を伺いました。ありがとうございました。

【遠藤】

ありがとうございました。

【パーソナリティー】

このコーナーでは、よりよい内容にしていくため、ラジオをお聞きの皆さまからご意見・ご感想を募集しております。お聞きのコミュニティ放送局までご連絡ください。